

利府西中学校第3学年保護者各位

利府町立利府西中学校

校長 菅原 裕

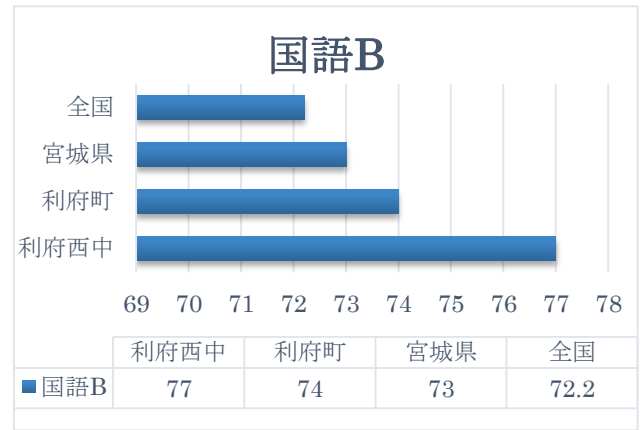
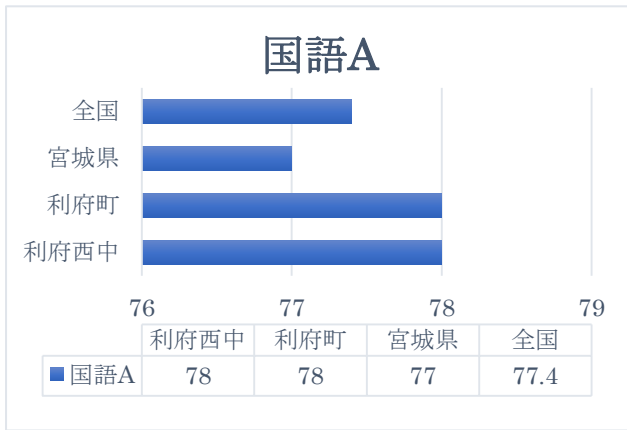
平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果とこれからの取組

清秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、今年4月18日（火）に、全国の公立中学校に通う3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が行われ、その結果が先日届きました。本校の生徒の学習や生活状況について、良さや課題をまとめましたので、お知らせします。なお、3年生の生徒には結果の個人票も配布しております。

1 学力調査の結果

【国 語】（国語A：主として知識に関する問題 国語B：主として活用に関する問題）平均正答率（%）



・国語Aについては、全国平均正答率を0.6ポイント上回っています。国語Bについても、全国平均を4.8ポイント上回っており、活用力が身についています。

◎よく出来ていた点 ●課題としてあげられる点

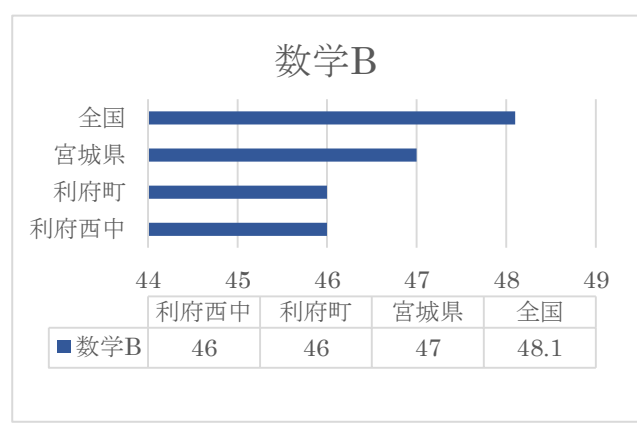
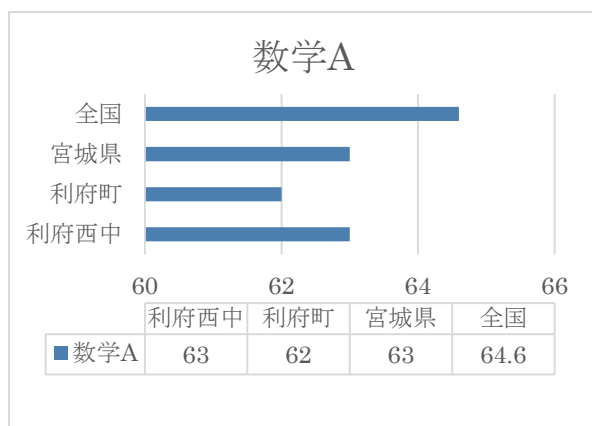
◎A・B問題ともに書く力が全国と比較しても高いことがわかりました。

◎昨年度の学校課題であった言語の知識について高まったことがわかりました。

●A問題では、特に漢字で書く問題の正答率が低い結果となりました。（A問題第1問の「キボ」を書く問題）

●B問題では、目的に応じて必要な情報を読み取る問題や登場人物などの描写に注意して読み取り、内容を理解する問題の正答率が低い結果となりました。

【数 学】（数学A：主として知識に関する問題 数学B：主として活用に関する問題）平均正答率（%）



・数学Aについては1.6ポイント、数学Bについては2.1ポイント全国平均を下回る結果となりました。

また、数学B問題については宮城県と比較しても下回る結果となりました。

◎よく出来ていた点 ●課題としてあげられる点

◎A問題では、計算する問題に対して良い正答率を残すことができました。

◎B問題では、与えられた資料から必要な情報を適切に読みとる問題は高い正答率を残しました。

●A問題では、図形や関数に関わる内容で、基礎的事項の定着が低い傾向がみられました。

●B問題では、単に事象の結果のみならず、事象の原因となる事柄について説明することの達成度が低い傾向が見られました。

また、理由を考え数学的な表現を用いて論証するなどの能力が低い傾向がみられました。

## 2 今後の取組について

### (1) 国語

○言語の知識が向上したため、毎日の漢字テストや語句・文法学習を今後も継続して行っていきます。

○朝読書や図書室を活用し、文章の展開に注目して読みながら内容を理解する力をつけていきます。

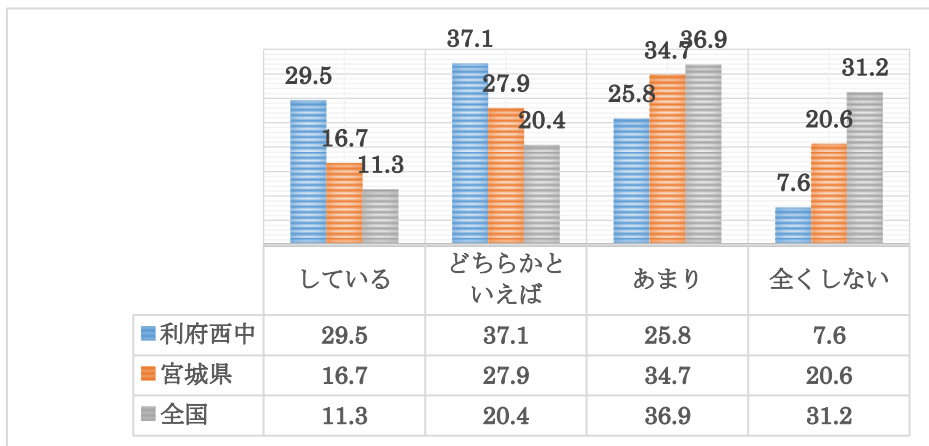
### (2) 数学

○図形の性質や公式の活用、関数の基本的スキルなど、定着が不十分な領域を重点に指導し、家庭学習用のプリントや復習を適時行っていきます。

○全体的に不得意な領域を重点に指導し、家庭学習用のプリントや復習を適時行っていきます。

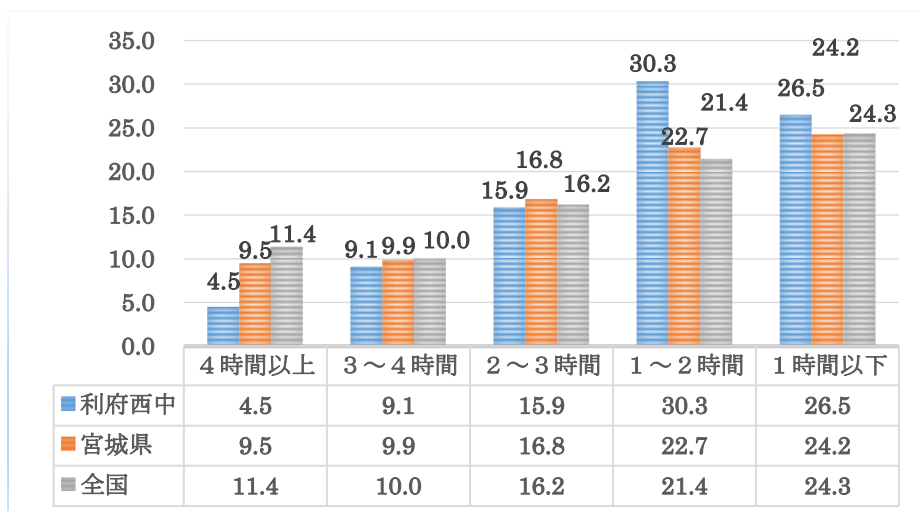
## 3 学習状況調査の結果

### (1) よい傾向が見られる項目…家で翌日の予習をしているか。



○前日に翌日の授業の予習を行っているまたはどちらかといえば行っているという生徒の割合が66.1%あり、全国や宮城県と比較すると非常に高い値となっています。今後も継続してほしいと思います。

### (2) 改善が必要と思われる項目…平日に家でテレビゲームやスマホゲームする時間



○全国や宮城県と比較しても同じような傾向が見られるのですが、80%以上の生徒が、平日にテレビゲームやスマートフォンでのゲームをしているという結果がでました。ゲーム時間が多いほど、学習の成績も低くなるという結果も出ていますので、改善が必要です。